

清水南のお宝めぐり

(清水山上編)

福井市清水南小学校

清水南小学校では、十月二十日に全校で「清水南のお宝めぐり」を行いました。地区ごとに行ってみたい所を訪問して、地域の方から多くのことを教えていただきました。

清水山上地区では白山神社としいたけ工場と毘沙門神社に行きました。

そして十一月十一日の学習発表会では五・六年生が自分たちの地区の宝としてみんなに紹介しました。

白山神社

白山神社は、清水山上の西側の山の近くにありません。清水山上・下、新保の人達の神社です。

白山神社は主に、お参りをする場所です。鐘を突くこともできますが、大晦日の日だけ、私達が自由に突けます。

昔は、白山神社でお祭りをしていました。今は、八月の第一土曜日に清水山上公民館です。

白山神社の建物は、約四十年前に建てられました。建物の周りには、たくさんのお宝があります。その木が倒れて何回か建物

が壊れたこともあるそうです。



昭和二八年、台風十三号で、木が倒れ、壊れました。その年の一年後に、すぐに建て直されました。屋根も「流れ造り」に変えました。中心の建物には、「おこなむちのみこと」が、祀られているそうです。

白山神社といったら、拝殿が中心の建物ですが、実は、小さい建物がいくつもあります。その中にも、鳥居がついている神社があります。赤色で、名前は、「いなり神社」といいます。そこには、おいなり様という狐の神様が祀られています。

そして、建物以外に目がつくのは、大きなイチヨウの木です。去年切られましたが、切り株が

残っています。とっても大きなイチヨウの木でした。大きくなるにも、人間と同じように、男と女の木がないと大きく成長しません。



敷地内には池もありました。「雨乞いの池」です。滋賀県の琵琶湖を表しているそうで、中心は、竹生島を表しています。約六百年前、日照りが続いたときに「雨が降りますように」と、よくお参りしたそうです。三日から四日で雨が降ったそうです。

(感想)

私は、白山神社にあって、昔の人は大変だと感じました。雨乞いの池へ行くと、お参りするほどの日照りが続くことがあったからです。植物が育たないと、食べる物も無くなり、生活が大変になります。今では、何とかすることが多いけど、昔は大変だったことが分かりました。

しいたけ工場

しいたけ工場では、工場長さんに工場内の案内や、しいたけの生産について教えてもらいました。

しいたけ工場では、一日に約二十kgのしいたけを出荷しています。一年では、たくさん出したけを出荷していることが分かりました。

しいたけ工場では、木くずブロックでしいたけを育てています。驚くほどにたくさんおいしく育てられています。たけが工場中に育っているのを見て本当にすごいと思いました。

(感想)

清水南お宝めぐりの「お宝」は、昔から伝わる歴史のあるものだと思っていたけど、このしいたけ工場も、本当に清水南のお宝だと思います。



毘沙門神社

毘沙門神社は清水山上町の日の川近くにありま。

毘沙門神社で有名なのは、毘沙門堂大杉です。最近の台風二十一号の強さで、木が倒れてしまいました。

大杉は、約六百年も前からあったそうです。



六百年も続いていた大杉が倒れてしまう強い台風はもう来てほしくないです。大杉は、市の文化財・天然記念物にもなっています。私は、木が再生できるなら再生してほしいなと思います。毘沙門神社は、朝倉時代に「おおたまか」という神様の子孫が一四五九年に建てた神社だそうです。この神社は白山神社と比べて大きさは小さいです。

(感想)

私は、毘沙門神社の大杉が六百年も続いたことは凄いなと思いました。できれば歴史深い大杉を再生してほしいです。